



八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造

文責：副校長 田村 崇司

女性の安心につなげて

十月二十五日、高田高校校長室において、国際ソロプチミスト大船渡 武田昌美会長から、生理用品を寄贈していただきました。生徒を代表して保健委員会の二年生六名が受け取り、経済的な理由で生理用品の購入を控える「生理的貧困」や国連が定める「国際ガールズ・デー」(十月十一日)への理解を深めました。

また、武田会長からは「社会的な制約を受ける女性は現実には存在する。適切な支援をもらうことで、未来への可能性が大きく広がる。女性の安心や体のことについて理解してもらいきっかけにしてほしい」という願いが生徒に伝えられました。



津波防災の日

十一月五日は津波防災の日に制定されており、内閣府主催で「緊急地震速報を利用した避難訓練」が全国一斉に行われました。当日、午前十時に防災無線で訓練の放送が流れました。校内放送でも自分の身を守る行動をとるよう指示があり、その後避難を開始しました。

この訓練は事前に生徒には伝えておらず、びっくりした生徒も多かったと思います。授業場所もいつもの教室とは限りませんので、各教科担当の先生方も避難経路について考えるよいきっかけになったと思います。

災害はいつ起こるか分かりません。どんな場面でも安全に避難ができるように日頃から心掛けて行きたいと思います。



実習船「あす丸」

船名揮毫 最優秀賞

岩手県内の水産系高等学校(宮古水産高校・久慈東高校・高田高校)の三校が共同で使用する新しい実習船の命名式と進水式が新潟県で行われました。この新しい実習船の名前は「りあす丸」ですが、この船名揮毫を三校の生徒から募集しましたところ、本校の鈴木愛弓さん(普通科三年)の作品が最優秀賞に輝き、鈴木さんの文字が実際に船に使われることになりました。

十月二十三日(水)、新潟造船所にて、岩手県教育委員会 顧問の先生が見守る中で表彰を受け、鈴木さんが書いた船名の実習船が無事に進水しました。来年度から各実習で運航されます。



大船渡税務署長賞受賞

十一月十二日(火)、村上莉乃愛さん(普通科一年)が、「税に関する高校生の作文」において、大船渡税務署長賞を受賞いたしました。大船渡税務署の方々が来校され、小田桐尚署長より表彰状と記念品が贈られました。

「人と社会を繋げる税の赤い糸」という題名で、人々の関心が高い増税についてメリットとデメリットを調べ、人と税との関係をつづった作文となっています。



産業教育フォーラム

十一月二十六日(火)、盛岡市のサンセール盛岡において、岩手県産業教育フォーラムが開催されました。このフォーラムは、岩手県内の産業教育に関わる生徒の研究発表や実習製品の販売を一堂に行われる、年に一回の行事

事となつていきます。教育関係者だけでなく一般の方々も、県内で産業教育を学ぶ生徒の活躍を見ることができます。

高田高校からは海洋システム科食品科学コース三年生が参加し、今年度製造した四種類の缶詰を販売してきました。



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



note における本校のページにアクセスするQRコード